

●●● 世界と日本の金銀銅の鉱石が勢ぞろい ●●●

◆主な展示物

世界の金鉱石 世界最大の南アフリカ ウィットウォーターズランドの30億年前の金鉱床から産した金鉱石、ゴールドラッシュの舞台となったアメリカ カリフォルニア州の金鉱石など。

日本の金鉱石 国史跡の新潟県佐渡鉱山の金鉱石、日本最大の金鉱床である鹿児島県菱刈鉱山の金鉱石など。

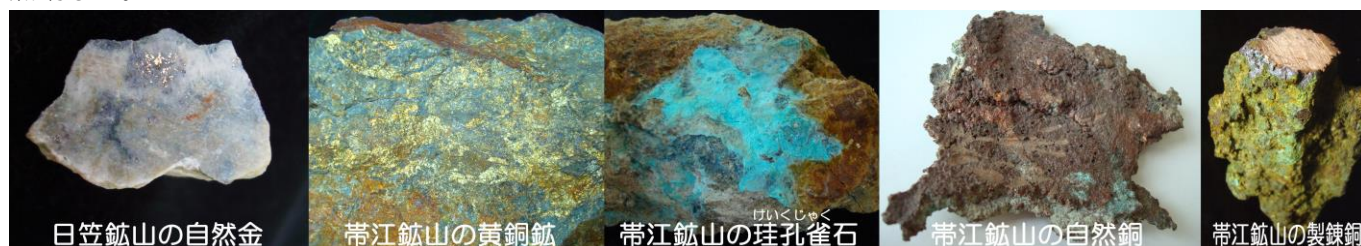
世界の銀鉱石 世界最大の銀鉱床地域で世界遺産のメキシコ サカテカス地域・グアナファト地域から産した銀鉱石、近世の世界的な銀鉱床で世界遺産のポリビア ポトシ銀山の銀鉱石、中世～近世にかけてヨーロッパの重要な産銀地であったドイツ・チェコ国境のエルツ山脈の銀鉱石など。

日本の銀鉱石 世界遺産の島根県石見銀山の銀鉱石、江戸時代に栄えた兵庫県生野鉱山や秋田県院内鉱山の銀鉱石。

世界の銅鉱石 世界最大の銅鉱床であるチリ チュキカマタ鉱山の銅鉱石、世界遺産のイギリス コーンウォール地域の銅鉱石など。

日本の銅鉱石 日本最大の銅鉱床だった愛媛県別子鉱山の銅鉱石、日本で最も古くから開発されて奈良の大仏などの銅を供給した山口県長登鉱山の銅鉱石。

岡山県の金鉱石と銅鉱石 和気町日笠鉱山の金鉱石、高梁市成羽町の吉岡鉱山の銅鉱石、倉敷市帯江鉱山の自然銅など。



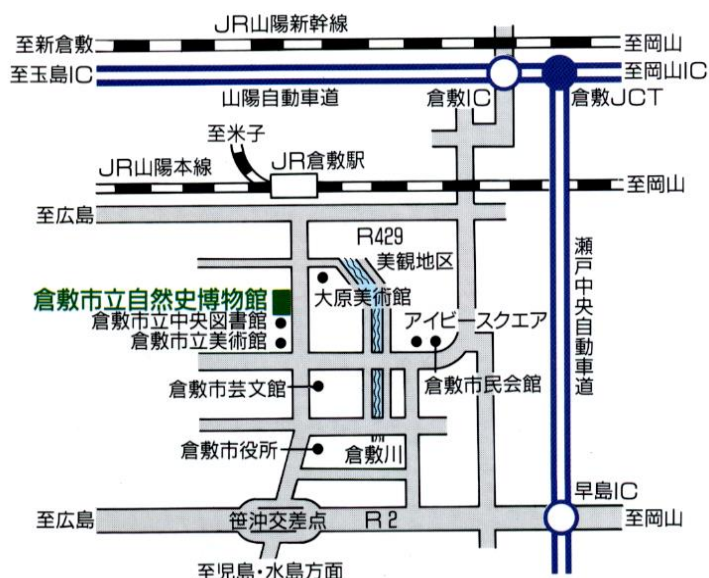
金銀銅の貨幣類 江戸時代の寛永通宝、明治時代の1円金貨幣・2円金貨幣、1円銀貨幣・50銭銀貨幣など。

◆特別展関連イベント

日時	テーマ	内容	時間	定員	申込期間
7月16日(土)	特別展展示解説①	金銀銅の自然界における存在状態についてのお話	13時30分～15時	50名	7月3日～15日
7月17日(日)	特別展展示解説②	金銀銅と人とのかかわりについてのお話	13時30分～15時	50名	7月3日～15日
8月7日(日)	黒鉱の話と顕微鏡観察	日本の主な銀資源だった秋田県の黒鉱についてのお話と、顕微鏡観察	午前の部(10時～11時10分) 午後の部(14時～15時10分)	午前の部・午後の部、各30名	7月24日～8月4日まで
8月14日(日)	別子銅山の話と銅鉱石の顕微鏡観察	日本最大の銅鉱床であった愛媛県別子銅山についてのお話と、その鉱石の顕微鏡観察	午前の部(10時～11時30分) 午後の部(14時～15時30分)	午前の部・午後の部、各30名	7月31日～8月11日まで
8月28日(日)	菱刈鉱山の話と金鉱石の顕微鏡観察	日本最大の金鉱山である鹿児島県菱刈鉱山の金鉱床のお話と、その金鉱石の顕微鏡観察	午前の部(10時～11時30分) 午後の部(14時～15時30分)	午前の部・午後の部、各30名	8月14日～25日まで
10月2日(日)	縄地鉱山の話と金鉱石の顕微鏡観察	江戸時代に栄えた伊豆半島の縄地鉱山のお話と、その金鉱石の顕微鏡観察	午前の部(10時～11時10分) 午後の部(14時～15時10分)	午前の部・午後の部、各30名	9月18日～29日まで

申込み: 上表の申込期間の9～17時に電話で倉敷市立自然史博物館へ(申込順に定員になり次第締め切り)。展示解説については観覧料要、その他は無料。

場所: いずれも倉敷市立自然史博物館地階講義室 ※小学生以下の方は当日、付添いの方同伴でご参加願います(付添いの方は申込人数には含みません)。



会場: 〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

倉敷市立自然史博物館 3階 特別展示室

観覧料: 一般 150円(100円), 大学生 50円(30円), 高校生以下無料。()内は20名様以上の団体料金。

休館日: 月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌日)

交通案内: JR倉敷駅から倉敷中央通りを南へ約800m(駅前から路線バスで「大原美術館前」下車すぐ)。最寄りの有料駐車場/「中央駐車場」(博物館に隣接)100円/30分(※なお、土・日・祝は混みます)。

TEL 086-425-6037 FAX 086-425-6038

URL <http://www2.city.kurashiki.okayama.jp/musnat/>